

北海道・各自治体へ申し入 ①

カポタージュ規制の緩和は断固反対

北海道庁申し入れ

2 月 12 日、北海道庁において第 85 回定期全国大会決定事項に基づく申し入れを行った。池端英昭北海道議会議員と高橋亨北海道議会議員の協力のもと、三橋剛副知事にご対応いただき、本組合からは山崎秀和北海道地方支部長、池上幸太副支部長、若杉健太執行部員が出席し、北海道庁に関連する主要な項目について申し入れを行った。

三橋副知事からは、本日の申し入れを真摯に受け止め、カポタージュ規制については、国家安全上の問題や船員の雇用問題への影響を慎重に検討したいとの考えが示された。北海道は四方を海に囲まれ、水産業、海運業は北海道の基盤となっており、船員・漁船員の重要性は十分に認識しているが、人材不足が顕著となっている背景から、船員の確保に関しては学生へのアプローチや、漁村などとの交流を図り、興味を持ってもらう取り組みが必要と考える。また、道内には水産系高校が 3 校あり、船員養成機関として重要であることから存続させるべく取り組んでいきたい。その他の申し入れに関しても、重要な課題であると認識しており、関係団体と連携し、可能な限り協力し、取り組んでいきたいとの回答がなされた。

組合から、安易なカポタージュ規制緩和は国内海運産業に与える影響は計り知れないむねの説明を重ね、規制緩和については断固反対であると強く訴えた。

「海員だより」